

海の絶景見おろす神社 涼味あふれ、心が澄む名勝10選 何でもランキング

2026/8/29 5:00 | 日本経済新聞 電子版



茨城県大洗町の大洗磯前神社

猛暑が長引くなか、夏休みの終わりや秋の行楽シーズンに海の絶景を眺めに出かけたい人も多いだろう。海は古くから信仰の対象にもなってきた。高台にある神社なら、社殿や鳥居とともに雄大な海を見おろし、癒やしや爽快感を得られる。景色がおすすめの神社を専門家が選んだ。

今週の専門家

▽岩見剛史（日本旅行総合研究所研究員）▽小塩稲之（日本観光文化協会会長）▽坂原弘康（神社仏閣専門家）▽佐々木優太（神社ソムリエ）▽鹿野貴司（写真家）▽清水菜保子（くふうカンパニー くふうトリップ担当）▽村田和子（旅行ジャーナリスト）▽吉田さらさ（寺と神社の旅研究家）＝敬称略、五十音順

1位 大洗磯前神社（おおあらいそさきじんじゃ、茨城県大洗町）

540ポイント 朝日が照らす「神磯の鳥居」



太平洋の荒波が打ち寄せる海岸の岩礁に「神磯（かみいそ）の鳥居」が立ち、波に洗われながら朝日に照らされる。平安時代の856年に海が突然光り輝いて祭神がこの磯に降り立たとされる故事をきっかけに神社が創建された。「太平洋の激しい波を従えて孤立する鳥居の背後から朝日が昇る瞬間は自然の驚異と信仰が融合する絶景」（小塩稻之さん）

鹿野貴司さんは「（茨城県の旧国名である）常陸国（ひたちのくに）は『日が立つ』に由来するとの説もある。朝焼けはそれを象徴するかのような神々しさ」と説明する。初日の出の名所としても全国的に知られ、参拝客が多く集まる。元日には神職が海岸に降りて初日の出奉拝式も執り行う。

晴れた日の日中に青い海がきらきらと輝き、満潮に近い潮位の高い時間帯には、鳥居とゴツゴツした岩が並ぶ磯に白波が碎ける様子も神秘的だ。村田和子さんは「参拝後は海岸沿いの遊歩道を散策すると自然の荘厳さを感じられる」と話す。



社殿は約90段の石段を上った小高い丘にある。境内から海の方を眺めると、石段の上にある鳥居越しに、海と空の2色の青が水平線で分割される美しい情景を楽しめる。現在の社殿は「水戸黄門」として知られる水戸藩主・徳川光圀の命によって建造された。拝殿や随神門に施された鳥や植物などの精巧な彫刻も見応えがある。

周辺はハマグリや岩ガキ、シラスの好漁場だ。「鳥居と大海原が織りなす絶景に加え、新鮮な海の幸を味わえる店も多数ある」（坂原弘康さん）

①アクセス JR水戸駅からバスで約30分。「大洗神社前」下車。

2位 高屋神社（香川県観音寺市）

480ポイント 瀬戸内の海と街を天空から一望



標高404メートルの稲積山の山頂にある本宮に設置された「天空の鳥居」。白い鳥居の先には、青い空と瀬戸内の海、観音寺市の街が広がる。吉田さらささんは「瀬戸内海を一望でき、鳥居をくぐって大空に飛んで行けそうな浮遊感」と語る。

夕日と鳥居をセットで楽しめる時間帯も人気で、「瀬戸内海に溶けゆく日没の美しさに心が洗われるよう」（清水菜保子さん）。麓の下宮から登山道を経て270段の石段を上ると、約50分で鳥居がある本宮につく。本宮近くまで車で上がることもできる。駐車場から本宮まで5分ほどの道行きには眺めのよい岩場があり、荘内半島と瀬戸内海の島々が連なる景観を楽しむ。

①JR観音寺駅から車で約25分（土日祝はシャトルバスが運行し、一般車両は交通規制）

3位 元乃隅神社（もとのすみじんじゃ、山口県長門市）

440ポイント 朱の鳥居123基が海にいざなう



日本海に面した断崖を縫うように赤い鳥居が123基連なる。小塩さんは「深い海の青と木々の緑を突き抜ける鳥居の朱が作り上げる絶景は類いまれな色彩で、悠久の時の流れを感じさせる」と話す。

1955年に地元の網元の枕元に現れた白狐（きつね）のお告げにより建立された。「鳥居が連なる光景は日本中にあっても海が背景というのは珍しい」（鹿野さん）。鳥居を海に向かってくぐったそばにある「龍宮（りゅうぐう）の潮吹」は、岩にできた穴に激しい波で入り込んだ海水が噴き上がる様子を見ることができる。

9～11月の土日祝日は周辺の混雑緩和のため参拝中止。上部の市道や龍宮の潮吹側から写真を撮ることは可能だが鳥居はくぐれない。

①JR長門古市駅、人丸駅から車で約20分

4位 鵜戸神宮（うどじんぐう、宮崎県日南市）

390ポイント 断崖越しに眺める奇岩



日向灘に面した断崖中腹の洞窟に本殿があり、海に向かって参道を下る。波で浸食された岩がつくりだす情景が神秘的で、村田さんは「断崖絶壁に続く参道、鳥居の朱色と海、南国のような木、荒々しい岩場のコントラストが美しく、ここならではの景色」と評する。

本殿がある洞窟内には「お乳岩」があり、安産などの御利益があるパワースポットとされる。坂原さんは「宮崎県の特産品のマンゴーや日向夏をかたどったおみくじがかわいい」とすすめる。

①JR宮崎駅からバスで約1時間30分、「鵜戸神宮」下車。徒歩約10分

5位 波上宮（なみのうえぐう、那覇市）

350ポイント サンゴ礁のビーチに面した崖の上



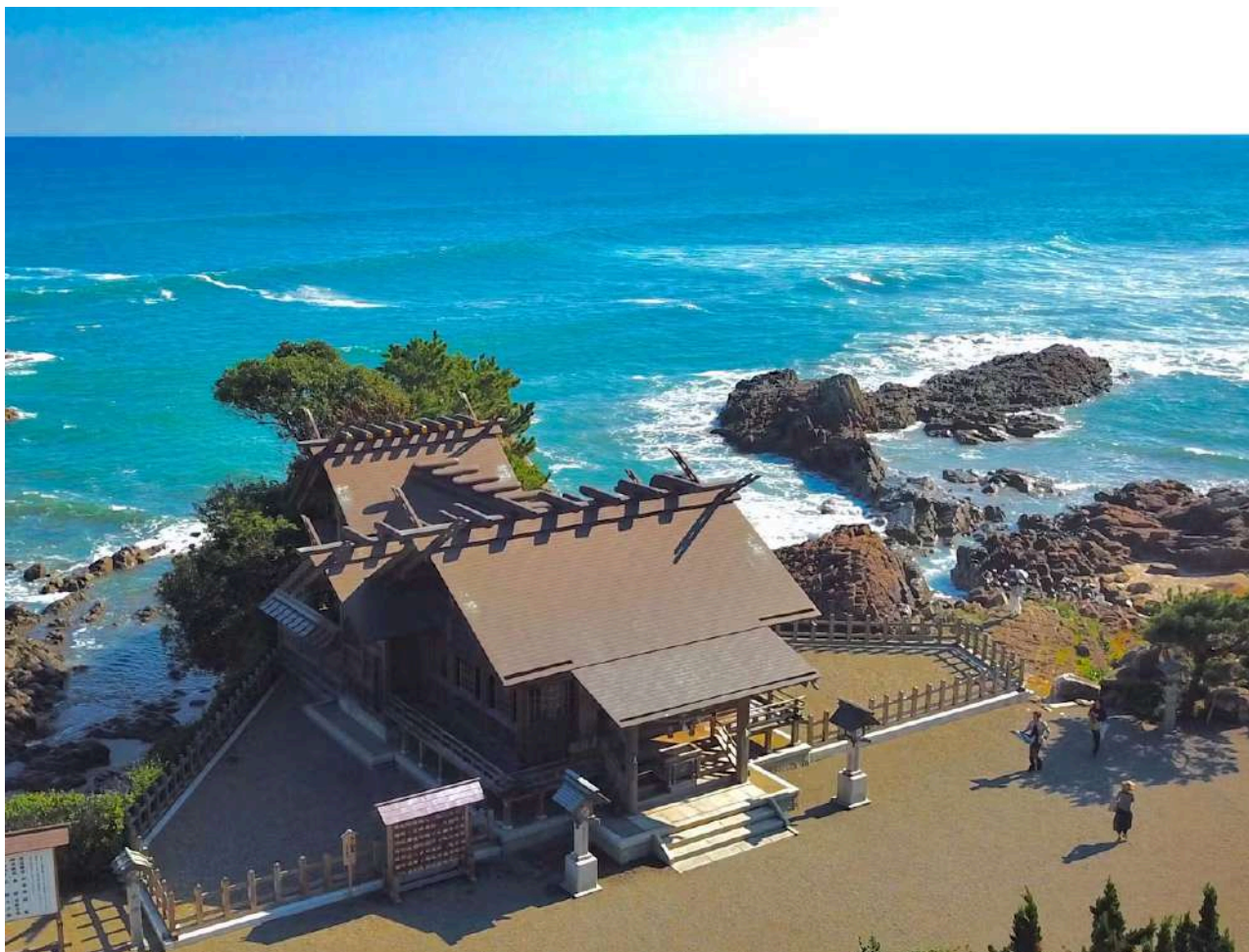
那覇港を望む崖の上に鎮座し、すぐ下はサンゴ礁が美しい青い海。琉球王朝の時代から現在まで沖縄総鎮守として信仰されてきた。中国や朝鮮などとの交易拠点となっていた那覇港に出入りする船は、波上宮を眺めて航路の安全を祈ったという。

本殿は沖縄特有の赤瓦と白い漆喰（しっくい）が青空に映える。狛（こま）犬ではなくシーサーが参拝客を出迎え、色鮮やかな竜の装飾もあって沖縄らしさを感じられる。岩見剛史さんは「近くには那覇では唯一の海水浴場があり、ビーチから見る宮も迫力がある」と語る。

①モノレール旭橋駅から徒歩約15分

6位 大御神社（おおみじんじゃ、宮崎県日向市）

260ポイント 社殿そばに柱状岩と日向灘



大海原を見渡す岩場に社殿が建てられ、「日向のお伊勢さま」と親しまれてきた。「柱状節理の断崖の上にあり、境内のどこからでも海が見える。この地形を作り出した自然そのものが神だと感じられる」（吉田さん）。佐々木優太さんは「柱状岩のみならず、境内にある国内最大級の『さざれ石』も絶景。君が代に詠まれた景色はここのことともいわれる」と紹介する。

社殿から海岸沿いの遊歩道を歩いた洞窟内には縁が深い摂社の鵜戸神社があり、内部から入り口付近を振り向くと昇り竜のような形が浮かび上がる。

①JR日向市駅から車で約10分

7位 伊豆白浜神社（静岡県下田市）

250ポイント 海の青と鳥居の赤のコントラスト



伊豆最古の神社とされ、小高い岩礁に設置された海岸鳥居と伊豆の海との情景を堪能できる。清水さんは「青い海と真っ白な砂浜、赤い鳥居のコントラストが美しい。鳥居が立つ大明神岩からは美しい海が望め、抜群の開放感」と語る。

「（古代から高い社格を持っていた）名神大社の1つであり、先人たちも見たであろう景色に感動する」（佐々木さん）。特に縁結びの御利益で知られる。8月末までは隣接する海が海水浴場となっている。

①伊豆急行伊豆急下田駅から路線バスもしくはタクシーで約15分

8位 倉岳神社（熊本県天草市）

230ポイント 山頂から天草の多島美を



標高682メートルで天草諸島最高峰の倉岳の山頂にあり、鳥居の先に天草の美しい島々と穏やかな海を見渡すことができる。「天空の鳥居と眼下に広がる海、島々の絶景がSNSや写真愛好家の間で人気が高い」（岩見さん）

鹿野さんは「標高が高い分、絶景の度合いも圧倒的。朝焼けから夕焼け、さらに夜景と時間を問わず景観を楽しめる」と話す。7月下旬の地震を受けて神社までの山道は一時交通規制となったが、現在は解除されている。訪問する際は余震による落石など最新の情報に注意しておきたい。

①熊本市から車で約2時間40分。または天草空港から同約45分

9位 久能山東照宮（静岡市）

190ポイント 門の内側から見る海にも魅力



江戸幕府を開いた徳川家康をまつるため駿河湾に面した久能山に建てられた。斜面に参道として設けられた1159段の石段を上ると終盤に一ノ門があり、視界が開ける。「門からの駿河湾の眺望が素晴らしい」（坂原さん）。伊豆半島や御前崎も一望でき、ロープウエーでも上れる。

門の内側から見る海も魅力的だ。吉田さんは「さすがは徳川家康をまつる神社と思える豪勢な眺めで、天下を取ったような気分になれる」と話す。家康の遺言で建てられた社殿は極彩色の彫刻や金箔で装飾され、国宝となっている。

①JR静岡駅からバスで約50分。「久能山下」下車。徒歩約20分

10位 洲崎神社（すのさきじんじゃ、千葉県館山市）

185ポイント 鳥居が縁取る海越しの富士



房総半島の南西の端にあり、浜辺にある鳥居からは東京湾と富士山の景色を楽しめる。5月や7月には、条件がそろえば鳥居の内側に夕日のダイヤモンド富士を見ることがもできる。「鳥居越しに富士山が見える場所でもここまで見事な額縁は珍しい」（鹿野さん）

社殿への石段を上った先の景色も美しい。佐々木さんは「多くの神社が東か南を向いて建つなか西向きで、まるで富士山を見るために鎮座しているよう」と話す。源頼朝が石橋山の戦いで敗れた後に戦勝を祈願したとも伝わる。

①JR館山駅からバスで約30分。「洲の崎神社前」下車。徒歩約5分

高台から大海原、神社で心清めて

島国の日本は古来、海と信仰が結びついてきた。夏の陽光に照らされた海面が美しいだけでなく、波が岩に打ち付ける様子は迫力がある。鳥居を額縁として青い海や空を切り取るように眺めると自然の景観がより神秘的に感じられ、色のコントラストが絶景を作り出す。山上や高台から大海原を見渡せば心まで澄んでいくようだ。

5位の波上宮は海のかなたにあるとされる神々の理想郷「ニライカナイ」に向かって豊漁豊作の祈りをささげる聖地だった。神社の歴史を知るとは各地の文化に触れることにもつながる。

ランキングの11位以下には、鳥居越しに瀬戸内海を見渡せる伊和都比売（いわつひめ）神社（兵庫県赤穂市）、ウミネコの繁殖地として知られる蕪嶋（かぶしま）神社（青森県八戸市）、東日本大震災から復興した石巻市の街や港を一望できる鹿島御児神社（宮城県石巻市）などが名を連ねた。

海を眺めて心身をリフレッシュしたくなったら、海辺の神社を探してみよう。普段とはひと味違う海の楽しみ方が見つかるはずだ。

ランキングの見方

数字は専門家の評価を点数化したもの。①アクセス。写真は1位が三浦秀行、2位は柘植康文撮影。3位は山口県観光連盟、4位と6位は宮崎県観光協会、5位は波上宮、7位は下田市観光協会、8位は熊本県観光連盟、9位は久能山東照宮、10位は千葉県館山市が提供。

調査の方法

小塩稲之さん、鹿野貴司さん、村田和子さん、吉田さらささんの協力を得て、北海道から沖縄まで海を見下ろす23カ所の神社をリストアップ。「社殿・境内もしくは鳥居と海が作り出す景色の美しさ」「高台や崖から海を見下ろす爽快感、開放感」の観点から8人の専門家が1～10位を選び、編集部で集計した。

（柘植康文）

【関連記事】

- ・ [一ノ蔵や大七…夏は氷で小粋に ロックに合う日本酒10選](#)
- ・ [えびせんがサブレに？ 夏の旅先で買いたい「ネオ土産菓子」10選](#)
- ・ [一日過ごせる道の駅10選 フルーツ狩りやプール、体験充実](#)
- ・ [キッチンから中国・モロッコ・イタリアへ 旅気分味わうレシピ本10選](#)
- ・ [夏の元気を餃子で 宇都宮・浜松・宮崎…取り寄せできる全国の名店10選](#)



[「NIKKEIプラス1」のX（旧Twitter）アカウントをチェック](#)

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI Nikkei Inc. No reproduction without permission.